

実施日	令和6年4月18日	担当	長崎労働基準監督署 安全衛生課
-----	-----------	----	-----------------

建設現場の労働災害防止にかかる取組強化を要請しました。

長崎労働基準監督署（署長 井上 和秀）では、昨年の建設業における休業4日以上の死傷者数は83人となり、一昨年と比べ6人(7.8%)増加し、過去5年間で最多となり、本年4月、工場の解体工事で、解体用機械で建屋を解体中、建屋が解体用機械の運転席に向かって倒壊し、運転席にいた被災者が挟まれ、尊い命が失われる災害が発生しています。死亡災害は、絶対にあってはならないものです。

こうした状況から、当署では、建設業労働災害防止協会長崎県支部長崎分会に対し、労働災害防止の取組強化を要請し、労働災害撲滅に向けて意思疎通を図りました。

当署では、建設現場で尊い生命が失われることのないよう、建設現場への監督指導強化と併せ、関係機関と連携し、労働災害撲滅に向けた取組を積極的に行ってまいりますので、管内の建設業の皆様には、労働災害防止の一層の取組強化をお願いします。



建設業労働災害防止協会長崎県支部長崎分会会長あての要請文書を交付する井上署長（右）

（参照文書）

要請文書「建設業における労働災害防止対策の一層の推進について（お願い）」

別添「建設業における労働災害防止対策の一層の推進について（お願い）」

別添「令和5年における建設業の労働災害事例」



長崎基署発 0418 第 1 号
令和 6 年 4 月 18 日

建設業労働災害防止協会长崎県支部
長崎分会 分会長 川島 邦元 殿

長崎労働基準監督署長
署長之印

建設業における労働災害防止対策の一層の推進について(お願い)

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃より労働基準行政の円滑な運営につきまして、格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当署では、建設業を労働災害防止に係る重点業種として、令和 5 年度から『第 14 次労働災害防止 5 カ年計画』(以下「14 次防」と称する)を推進し、労働安全衛生関係法令及び各種ガイドライン・指針等の遵守徹底等について鋭意推進しているところです。

しかしながら、当署管内においては、令和 5 年 5 月、立木の伐採工事で、高所作業車に搭乗して立木の枝打ち作業を行っていたところ、高さ約 10mより墜落し、死亡する災害が発生し、さらに、令和 6 年 4 月、工場の解体工事で、解体用機械で建屋を解体中、建屋が解体用機械の運転席に向かって倒壊し、運転席にいた被災者が挟まれ死亡する災害が発生しています。

また、令和 5 年の建設業における休業 4 日以上死傷者数は 83 人となり、一昨年と比べ 6 人(7.8%)増加しており、過去 5 年間で最多となる憂慮すべき状況となっています。

つきまして、貴会におかれましては、14 次防における重点目標である建設業の死亡災害の撲滅並びに、死傷災害を減少させるため、傘下事業場あてに別添「建設業における労働災害防止対策の一層の推進について(お願い)」を周知する等、一層の労働災害防止対策を推進していただき、労働災害の防止に万全を期していただきますようお願いいたします。

また、労働災害防止対策の推進に当たっては、別添「令和 5 年における建設業の労働災害事例」を併せてご活用ください。

(担当部署) 長崎労働基準監督署 安全衛生課
〒852-8542
長崎市岩川町 16-16 長崎合同庁舎 2 階
TEL (095)846-6392

建設業における労働災害防止対策の一層の 推進について（お願い）

事業者 殿

長崎労働基準監督署長

長崎労働基準監督署では、『第14次労働災害防止5カ年計画』（令和5年度～令和9年度）（以下「14次防」と称する）に基づき、労働災害防止のため、労働安全衛生関係法令及び各種ガイドライン等の遵守徹底について鋭意推進しているところです。

しかしながら、当署管内においては、昨年5月、伐採工事のため高所作業車に搭乗して作業を行っていた労働者が高さ約10mから墜落し、死亡する労働災害が発生し、さらに、本年4月、工場の解体工事にて、解体用機械で建屋を解体中、建屋が解体用機械の運転席に向かって倒壊し、運転席にいた被災者が挟まれ死亡する災害が発生しています。

また、昨年1年間の建設業における休業4日以上死傷者数は83人となり、一昨年と比べ6人(7.8%)増加しており、**過去5年間で最多**となる憂慮すべき状況となっています。

つきましては、これ以上、建設業において痛ましい労働災害を発生させないため、労働災害の増加傾向に歯止めをかけるため、事業者の皆様におかれましては、下記事項について特にご留意いただき、労働災害防止対策に万全を期していただきますようお願い申し上げます。

なお、本年度においても、長崎独自のゼロ災活動『アクションZERO～長崎ゼロ災運動』が7月1日より開始されます。店社及び現場ごとにご参加いただき、労働災害防止の機運醸成の取り組みとしていただきますようお願い申し上げます。

記

- 「墜落・転落災害」、「建設機械・クレーン災害」、「崩壊・倒壊災害」の防止
 - 高所作業においては、本足場の設置や十分な幅のある作業床を設置してください。
 - 墜落制止用器具(安全帯)の使用(フックの取り付け)を徹底してください。
 - 高所作業車を使用した高所作業では、墜落制止用器具の使用を徹底してください。
 - 移動式クレーン及び建設重機の作業においては、安全な作業計画を作成してください。
 - 資格が必要な業務には、有資格者を配置してください。
 - 建設重機や高所作業車による吊り荷作業など、用途外使用は行わないでください。
 - 移動式クレーン及び建設重機の作業半径内への立入禁止措置を徹底してください。
 - 溝掘削作業(深さ概ね1.5m以上)では土止め支保工を設置してください。
 - 解体作業においては作業指揮者等を選任し、作業中、直接指揮させてください。
- 作業計画段階における危険予知（リスクアセスメントの実施）

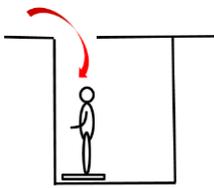
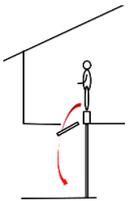
作業計画段階においてリスクアセスメントを実施し、安全設備を確保してください。
- 職長

職長教育を受けた者を配置し、作業中は労働者の直接指揮・監督に当たらせてください。
- 安全な作業方法の周知のための安全衛生教育の実施

リスクアセスメントの結果、建設機械等に係る作業計画については、安全衛生教育を通じて関係作業員へ確実に周知してください。

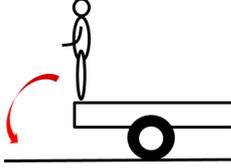
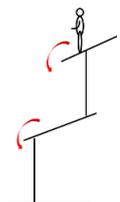
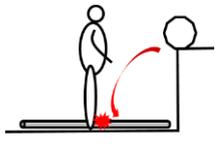
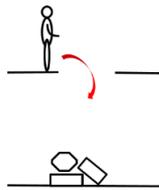
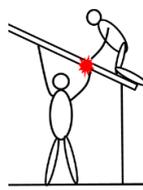
令和5年における建設業の労働災害事例

長崎労働基準監督署

番号	発生日	性別	職種	年齢層	災害発生の概要 (概要の内容は、同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	略図	事故の型	
							起因物	
1	1月	男性	一般作業員	50代	寺院の改修工事にて、セメント・砂等の資材をミニローラ運搬車で運搬中、段差に乗り上げたときに方向が変わり、当該運搬車と手すりとの間に手首を挟まれた。 (傷病名:左手首脱臼、休業見込み日数:3か月)		はさまれ、巻き込まれ	不整地運搬車
2	1月	男性	解体工	70代	公民館の解体工事にて、解体用つかみ機で作業員が持ったロープをつかむとき、アタッチメントに作業員の手を挟まれた。 (傷病名:右手切創、休業見込み日数:1週間)		はさまれ、巻き込まれ	解体用機械
3	1月	男性	一般作業員	70代	港湾の整備工事にて、船に乗り込むため、係留ロープを引っ張ったとき、ロープが外れ、反動で背面側の階段から5段下に転落した。 (傷病名:頭部打撲、休業見込み日数:4日)		墜落、転落	その他の用具
4	1月	男性	電気工	20代	電気設備の改修工事にて、床のグレーチングを取り外す作業中、グレーチングを外した後に置いていたステンレスのメッシュ板の上に足を置き、深さ2.9m下の地下ピットに墜落した。 (傷病名:左膝前十字靭帯損傷、休業見込み日数:14日)		踏み抜き	金属材料
5	1月	男性	一般作業員	30代	民家の改修工事にて、屋根裏に入ってクロスを確認していたとき、天井ボードを踏み抜き、2階フロアまで墜落した。 (傷病名:右足踵粉碎骨折、休業見込み日数:4週間)		踏み抜き	天井
6	1月	男性	大工	70代	アパートの改修工事にて、卓上丸のこ盤で洗面台下の床板を切り開け作業中、歯が跳ね返って左手指に当たった。 (傷病名:左示指先端部切断、休業見込み日数:50日)		切れこすれ	丸のこ盤
7	2月	男性	大工	30代	民家の外壁改修工事にて、可搬式電動丸のこ盤で外壁の地下用の材木を切断中、歯が左中指に当たった。 (傷病名:左中指切創、休業見込み日数:1か月)		切れこすれ	丸のこ盤

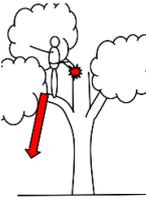
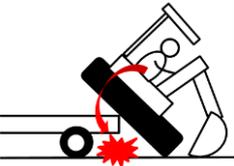
令和5年における建設業の労働災害事例

長崎労働基準監督署

番号	発生日	性別	職種	年齢層	災害発生の概要 (概要の内容は、同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	略図	事故の型	
							起因物	
8	2月	男性	運転手	60代	保育園の解体工事にて、現場内で2トンドンプの荷台から降りるとき、足を滑らせ、地面に転落した。 (傷病名:左橈骨頭骨折、休業見込み日数:2か月)		墜落、転落	トラック
9	2月	男性	一般作業員	20代	資材置き場にて、午前中の業務が終了し、手の油汚れをパーツクリーナーで吹き飛ばした後、たばこに火をつけたとき、両手に引火した。 (傷病名:両手火傷、休業見込み日数:3か月)		高温の物との接触	引火性の物
10	2月	男性	解体工	60代	民家の解体工事にて、2階下屋を撤去中、バランスを崩し、2階屋根上から1階屋根上に転落し、そのまま地面まで転落した。 (傷病名:頭部切創・鎖骨骨折、休業見込み日数:14日)		墜落、転落	屋根
11	3月	男性	管工	40代	下水道の取付け工事にて、下水配管の貫通作業中、溝の上の石垣が崩落し、右足に石が当たった。 (傷病名:右足関節外果骨折、休業見込み日数:3か月)		飛来、落下	石
12	3月	男性	解体工	70代	工場の改修工事にて、解体した内部部材を開口部から階下に落としているときに躓いて、開口部から階下に墜落した。 (傷病名:腰椎圧迫骨折、休業見込み日数:3週間)		墜落、転落	開口部
13	3月	男性	左官	70代	公民館の改修工事にて、現場内を移動中、養生シートを押さえていた土嚢のひもに引っかかって、転倒した。 (傷病名:右足大腿部骨折、休業見込み日数:2か月)		転倒	通路
14	3月	男性	大工	50代	民家の改修工事にて、垂木を下から支え、上から釘打ち機で釘を打った時、下で支えていた作業員の指に釘が刺さった。 (傷病名:右親指骨折、休業見込み日数:2か月)		切れこすれ	釘打ち機

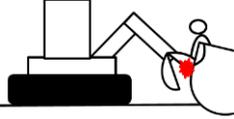
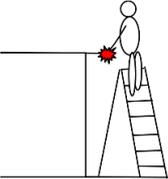
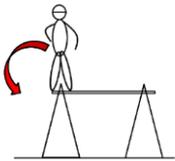
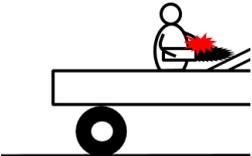
令和5年における建設業の労働災害事例

長崎労働基準監督署

番号	発生日	性別	職種	年齢層	災害発生の概要 (概要の内容は、同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	略図	事故の型	
							起因物	
15	3月	男性	現場監督	70代	宅地の造成工事にて、現場内を移動中、重機の轍に踏いて、転倒した。 (傷病名:肋骨骨折、休業見込み日数:1か月)		転倒	通路
16	3月	男性	土木工	40代	資材置き場にて、ダンプトラックの荷台からバックホーを降ろしていたとき、積み降ろしに使用する盛土の一部が崩れ、バックホーが傾き転倒した。 (傷病名:両大腿部挫傷、休業見込み日数:1か月)		転倒	建設機械
17	3月	男性	大工	60代	民家の擁壁工事にて、斜面に立てかけたはしごに上り、石垣の除草作業中、草を抜いた反動で、地面に落下した。 (傷病名:肋骨多発骨折、休業見込み日数:1か月)		墜落、転落	はしご
18	3月	男性	大工	50代	民家の改修工事にて、材料の運搬中、階段で足を踏み外して転倒した。 (傷病名:左脇腹打撲、休業見込み日数:30日)		転倒	階段
19	4月	男性	造園工	60代	造園工事にて、木に登って枝を剪定していたとき、枯れ枝に足をかけてしまい、3m下の地面に墜落した。 (傷病名:頸椎骨折、休業見込み日数:2か月)		墜落、転落	立ち木
20	4月	男性	大工	20代	民家のサッシ取換え工事にて、1階屋根上で作業中、足を滑らせ、3.5m下の地面に墜落した。 (傷病名:右踵骨折、休業見込み日数:3か月)		墜落、転落	屋根
21	4月	男性	一般作業員	70代	施設の造成工事にて、現場内の平地で、ダンプの荷台からバックホーを降ろしているとき、バックホーが傾いた衝撃で、運転席から落下した。 (傷病名:左足打撲、休業見込み日数:30日)		墜落、転落	建設機械

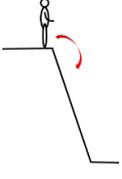
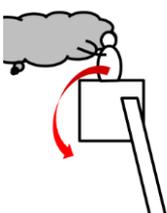
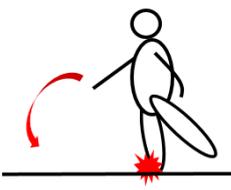
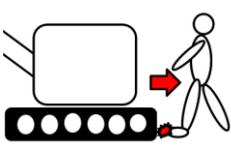
令和5年における建設業の労働災害事例

長崎労働基準監督署

番号	発生日	性別	職種	年齢層	災害発生の概要 (概要の内容は、同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	略図	事故の型	
							起因物	
22	4月	男性	土木工	30代	<p>整地工事にて、解体用つかみ機のアタッチメントにフレコンバックの取手を掛けたとき、アタッチメントに左腕を挟まれた。 (傷病名:左腕骨折、休業見込み日数:1か月)</p>		はさまれ、巻き込まれ	建設機械
23	4月	男性	土木工	50代	<p>民家の新築工事にて、床掘の底面で測量作業中、斜面の転石(50cm×60cm×12cm)が落下し、左足に当たった。 (傷病名:左足下腿部開放骨折、休業見込み日数:90日)</p>		飛来、落下	石
24	4月	男性	型枠大工	50代	<p>ホテルの新築工事にて、7階スラブ上で壁枠の建込み作業中、脚立上でバランスを崩し、後ろ向きに転落した。 (傷病名:肋骨骨折、休業見込み日数:1か月)</p>		墜落、転落	脚立
25	5月	男性	解体工	40代	<p>倉庫の解体工事にて、倉庫の上部に取り付けてあるアングルを脚立を使って取り外すとき、バランスを崩し、転落した。 (傷病名:左橈骨骨折、休業見込み日数:3か月)</p>		墜落、転落	脚立
26	5月	男性	土木工	50代	<p>施設の新築工事にて、資材を運搬中、地面がぬかるみで、転びそうになり、足を踏ん張ったときに膝を痛めた。 (傷病名:左膝半月板損傷、休業見込み日数:45日)</p>		無理な動作	通路
27	5月	男性	一般作業員	60代	<p>民家の改修工事にて、うま足場上でコンクリート打設の状況を確認中、バランスを崩し、50cm下の地面に転落した。 (傷病名:くも膜下出血、休業見込み日数:2週間)</p>		墜落、転落	うま足場
28	5月	男性	土木工	20代	<p>道路の管理委託業務にて、ダンプトラックの荷台上で、伐倒木の枝をチェーンソーで切断した後、左手指が惰性で回転していた歯に当たった。 (傷病名:左手親指・示指切創、休業見込み日数:1週間)</p>		切れこすれ	チェーンソー

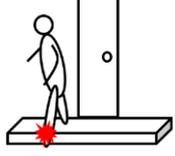
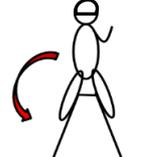
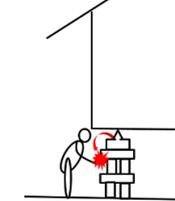
令和5年における建設業の労働災害事例

長崎労働基準監督署

番号	発生日	性別	職種	年齢層	災害発生の概要 (概要の内容は、同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	略図	事故の型	
							起因物	
29	5月	男性	現場監督	70代	宅地の造成工事にて、丁張りのため、掘削した斜面の上方を移動していたところ、斜面を約3m滑落した。 (傷病名:骨盤等骨折、休業見込み日数:30日)		墜落、転落	地山
30	5月	男性	解体工	60代	倉庫の解体工事にて、1階屋根から降りようとして、バランスを崩し、2m下の地面に墜落した。 (傷病名:頸椎損傷、休業見込み日数:3か月)		墜落、転落	屋根
31	5月	男性	一般作業員	50代	会社敷地の伐採工事にて、立木の伐木作業を行うため、高所作業車に搭乗し、立木の枝打ちを行っていたところ、地上高さ約10mより墜落し、死亡したもの。 (傷病名:頭部打撲、休業見込み日数:死亡)		墜落、転落	高所作業車
32	6月	男性	電気工	60代	電気設備工事にて、作業に使用する脚立を取りに行くとき、通路で躓き、転倒した。 (傷病名:急性硬膜下血腫、休業見込み日数:6か月)		転倒	通路
33	6月	男性	土木工	20代	道路の整備工事にて、測量作業中、バックしてきたドラグショベルのキャタピラに右足首を轢かれた。 (傷病名:右足脛骨骨折、休業見込み日数:2か月)		激突され	建設機械
34	6月	男性	一般作業員	30代	配水池の補強工事にて、高圧洗浄機でコンクリート構造物の劣化部を除去していたとき、誤ってトリガーを押し、足に高圧水が当たった。 (傷病名:太腿裂傷、休業見込み日数:1か月)		切れこすれ	高圧洗浄機
35	6月	男性	解体工	30代	パチンコ屋の解体工事にて、防火垂れ壁(ガラス)の撤去作業中、ガラスが落下し、腕に当たった。 (傷病名:右前腕挫創、休業見込み日数:2か月)		飛来、落下	ガラス

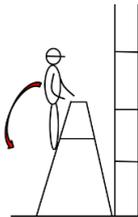
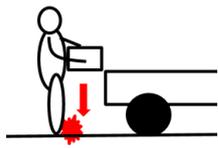
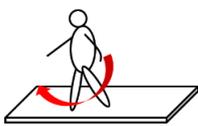
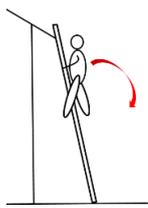
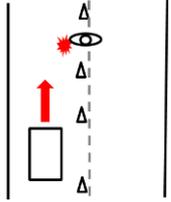
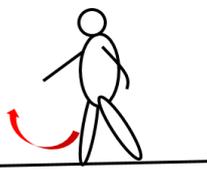
令和5年における建設業の労働災害事例

長崎労働基準監督署

番号	発生日	性別	職種	年齢層	災害発生の概要 (概要の内容は、同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	略図	事故の型	
							起因物	
36	6月	男性	一般作業員	50代	民家の改修工事にて、玄関先の段差を見誤って、左足を地面に強くついた。 (傷病名:左足側面骨折、休業見込み日数:2週間)		無理な動作	通路
37	7月	男性	一般作業員	20代	民家の新築工事にて、可搬式丸のこ盤で下地材を加工中、歯が跳ねて手指に当たった。 (傷病名:左示指開放骨折、休業見込み日数:14日)		切れこすれ	丸のこ盤
38	7月	男性	電気工	60代	マンションの新築工事にて、脚立を使用し、天井付近の端子板を取り付けていたとき、脚立がずれて転落した。 (傷病名:左肩骨折、休業見込み日数:1か月)		墜落、転落	脚立
39	7月	男性	石工	30代	墓石の彫刻工事にて、ダンプトラックの荷台上で、墓石を起こそうと持ち上げたとき、腰を負傷した。 (傷病名:急性腰痛症、休業見込み日数:17日)		無理な動作	墓石
40	7月	男性	解体工	40代	店舗の解体工事にて、解体後のコンクリート殻の上を移動中、右足を捻った。 (傷病名:右足関節捻挫、休業見込み日数:3週間)		無理な動作	通路
41	7月	男性	型枠大工	40代	マンションの新築工事にて、地足場上で荷下ろし作業中、昇降口に仮置きしていた角鋼管に足を置いてしまい、2.3m下に墜落した。 (傷病名:右腓骨遠位端骨折、休業見込み日数:1か月)		墜落、転落	足場
42	7月	男性	鳶工	30代	民家の家揚工事にて、レールの取り外し作業中、レールがずれ、レールと井桁との間に手指を挟まれた (傷病名:右手示指・中指挫創、休業見込み日数:2か月)		はさまれ、巻き込まれ	材料

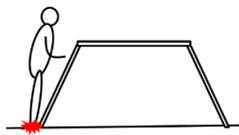
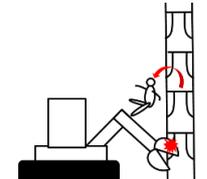
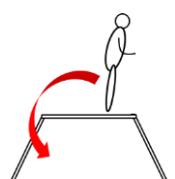
令和5年における建設業の労働災害事例

長崎労働基準監督署

番号	発生日	性別	職種	年齢層	災害発生の概要 (概要の内容は、同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	略図	事故の型	
							起因物	
43	7月	男性	斫り工	40代	施設の新築工事にて、山留の斫り作業中、はしごを降りていたとき、腰に痛みがあつて力が抜け、1.8m下に墜落した。 (傷病名:骨盤骨折、休業見込み日数:60日)		墜落、転落	はしご
44	7月	男性	配管工	60代	民家の新築工事にて、脚立を使用し、天井の配管作業中、バランスを崩して転落した。 (傷病名:左足踵骨折、休業見込み日数:7週間)		墜落、転落	脚立
45	7月	男性	石工	50代	墓石の設置工事にて、トラックの荷台から石をおろしているとき、誤って石を右足甲に落とした。 (傷病名:右足甲打撲、休業見込み日数:2週間)		飛来、落下	石
46	7月	男性	大工	60代	アパートの内部改修工事にて、床に置いていたベニアに乗ったとき、ベニアが滑り、転倒した。 (傷病名:右肩腱板損傷、休業見込み日数:6か月)		転倒	作業床
47	8月	男性	電気工	40代	電線の引込み工事にて、引込み線の補修を行うため、1階屋根上まではしごで上がっていたとき、バランスを崩し、約3m下の地面に墜落した。 (傷病名:左中足骨骨折、休業見込み日数:35日)		墜落、転落	はしご
48	8月	男性	造園工	30代	道路の維持工事にて、道上に伸びた樹木を伐採中、通行してきた乗用車と接触した。 (傷病名:肋骨骨折、休業見込み日数:1か月)		交通事故	乗用車
49	8月	男性	電気工	50代	会社の駐車場にて、乗用車を駐車した後、小走りで事務所に向かっていったとき、玄関前のタイルで滑り、転倒した。 (傷病名:左大腿骨転子部骨折、休業見込み日数:2か月)		転倒	通路

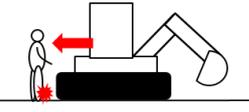
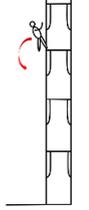
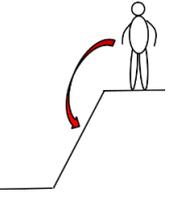
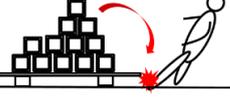
令和5年における建設業の労働災害事例

長崎労働基準監督署

番号	発生日	性別	職種	年齢層	災害発生の概要 (概要の内容は、同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	略図	事故の型	
							起因物	
50	8月	男性	塗装工	40代	店舗の新築工事にて、可搬式作業台を使用し、内装の塗装作業を終え、可搬式作業台から地面に降りるとき、転倒した。 (傷病名:左足踵骨折、休業見込み日数:5か月)		転倒	可搬式作業台
51	8月	男性	大工	30代	民家の内装工事にて、釘打ち機で間柱の釘打ち作業中、近くにあった扇風機に肘が当たり、右足甲に釘を誤射した。 (傷病名:右足甲刺創、休業見込み日数:1か月)		切れこすれ	釘打ち機
52	8月	男性	鳶工	30代	小学校の解体工事にて、足場の解体作業中、解体用機械のアタッチメントが足場の壁つなぎに接触し、足場が揺れ、2.8m下の地面に転落した。 (傷病名:左肘骨折、休業見込み日数:3か月)		墜落、転落	解体用機械
53	9月	男性	大工	60代	民家の改修工事にて、トタン壁の張替中、可搬式作業台から足を踏み外して転落した。 (傷病名:右趾骨折、休業見込み日数:1か月)		墜落、転落	可搬式作業台
54	9月	男性	一般作業員	60代	施設の改修工事にて、2人で切断した外壁板を運搬中、足を滑らせ転倒した。 (傷病名:肋骨多発骨折、休業見込み日数:1か月)		転倒	荷
55	9月	男性	解体工	40代	工場の解体工事にて、素手でトタン波板を片付け作業中、手が滑り、トタン波板の端で手を切った。 (傷病名:左手小指裂傷、休業見込み日数:1週間)		切れこすれ	材料
56	9月	男性	鉄筋工	40代	ケーソンの築造工事にて、ケーソンの底部に既設のはしごで移動中、はしご上で安全ブロックをD環にかけようとしたとき、足を滑らせ、5.0m下に転落した。 (傷病名:右踵骨骨折、休業見込み日数:3か月)		墜落、転落	はしご

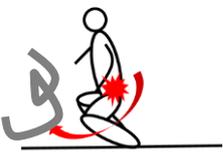
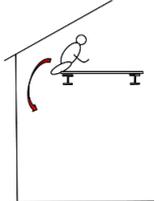
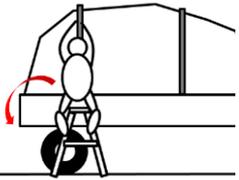
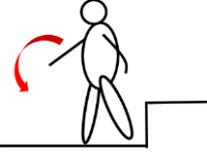
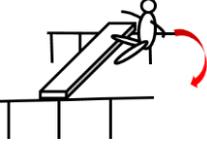
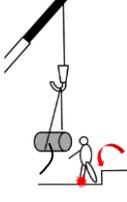
令和5年における建設業の労働災害事例

長崎労働基準監督署

番号	発生日	性別	職種	年齢層	災害発生の概要 (概要の内容は、同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	略図	事故の型	
							起因物	
57	9月	男性	甲板員	50代	浮棧橋の改修工事にて、海底の係留チェーンの引揚げ作業中、浮きクレーンで海底からチェーン引き揚げたとき、チェーンに固着していた石(直径15cm)が落下し、頭部に直撃した。 (傷病名:頸椎骨折、休業見込み日数:30日)		飛来、落下	石
58	10月	男性	土木工	50代	自社の資材置場にて、除草作業中、バックホーで集積した草をダンプトラックに積み込みしていたとき、左足にバックホーのキャタピラが接触した。 (傷病名:左足腓骨骨折、休業見込み日数:2か月)		激突され	建設機械
59	10月	男性	左官	70代	病院の新築工事にて、足場で外壁の補修作業中、足場上を移動していたときに足を踏み外し、5.4m下の地面に墜落した。 (傷病名:環椎骨折、休業見込み日数:14日)		墜落、転落	足場
60	10月	男性	板金工	30代	事務所にて、2階から階段を下りているとき、足を踏み外し、転落した。 (傷病名:右足踵骨折、休業見込み日数:45日)		墜落、転落	階段
61	10月	男性	電気工	50代	民家のアンテナ工事にて、民家の裏の電源ボックスに移動中、足を踏み外し、崖を3.5m下に滑落した。 (傷病名:背骨横突起骨折、休業見込み日数:3か月)		墜落、転落	崖
62	10月	男性	一般作業員	60代	自社の倉庫で、昼休憩中、積み上げていた木材が崩れ、左足に当たった。 (傷病名:左足首骨折、休業見込み日数:2か月)		崩壊、倒壊	木材
63	10月	男性	一般作業員	50代	マンションの新築工事にて、型枠の解体作業中、足首を捻った。 (傷病名:右足踵骨折、休業見込み日数:2か月)		転倒	作業床

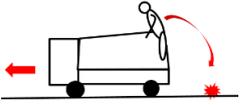
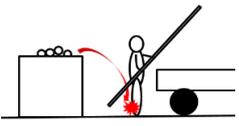
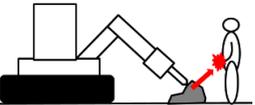
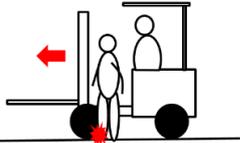
令和5年における建設業の労働災害事例

長崎労働基準監督署

番号	発生日	性別	職種	年齢層	災害発生の概要 (概要の内容は、同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	略図	事故の型	
							起因物	
64	10月	男性	電気工	20代	電柱の建替工事にて、電線のねじれを直していたとき、しゃがんだ状態から中腰に体位を変えたとき、腰に激痛が走った。 (傷病名:急性腰痛症、休業見込み日数:1週間)		無理な動作	電線
65	10月	男性	解体工	60代	民家の解体工事にて、合掌にロープを掛けて引き倒す作業中、合掌の上から2.0m下の地面に墜落した。 (傷病名:胸椎圧迫骨折、休業見込み日数:6か月)		墜落、転落	合掌
66	10月	男性	地盤改良工	40代	施設の新築工事にて、脚立を使用してトラックの荷の緊結作業中、ラッシングベルトを引っ張ったとき、反対側が固定されておらず、反動で脚立から墜落した。 (傷病名:左踵骨折、休業見込み日数:3か月)		墜落、転落	脚立
67	10月	男性	圧接工	20代	施設の新築工事にて、鉄筋のガス圧接作業中、道具を持って40cmの段差を下りるとき、転倒した。 (傷病名:右橈骨遠位端骨折、休業見込み日数:40日)		転倒	通路
68	10月	男性	土木工	30代	民家の新築工事にて、基礎工事を行っていたとき、掛け渡していた足場板から1.5m下に墜落した。 (傷病名:右踵骨折、休業見込み日数:2か月)		墜落、転落	足場板
69	11月	男性	板金工	50代	施設の新築工事にて、移動式クレーンで屋根材を荷揚げし、介錯ロープをつかみに行くとき、足元の段差に気づかず、足を捻った。 (傷病名:左腓骨遠位端骨折、休業見込み日数:1か月)		無理な動作	通路
70	11月	男性	配管工	40代	施設の改修工事にて、電磁バルブのボルトが取り外されていることに気づかず、接続管をガス溶断したため、電磁バルブが右膝に落下した。 (傷病名:右下腿部挫創、休業見込み日数:1か月)		飛来、落下	バルブ

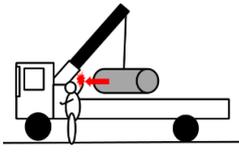
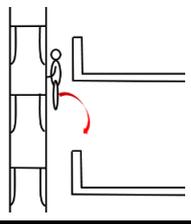
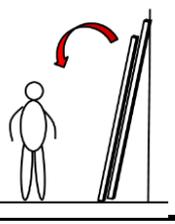
令和5年における建設業の労働災害事例

長崎労働基準監督署

番号	発生日	性別	職種	年齢層	災害発生の概要 (概要の内容は、同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	略図	事故の型	
							起因物	
71	11月	男性	土木工	70代	自社の資材置場にて、資材をダンプトラックに積み込み中、地面に置いていた資材に躓き、転倒した。 (傷病名:左手首骨折、休業見込み日数:3か月)		転倒	資材
72	11月	男性	一般作業員	50代	道路の維持管理委託にて、路面清掃車(スーパー)で清掃作業中、車体の上で一般廃棄物の状況を確認していたとき、ブレーキを踏んだ反動で、車体の上から地面に落下した。 (傷病名:左眼窩骨折、休業見込み日数:2か月)		墜落、転落	路面清掃車
73	11月	男性	大工	70代	自社の倉庫にて、現場で使用した型枠材をダンプトラックから積み下ろしていたとき、型枠材が鉄かごから落下し、右足に当たった。 (傷病名:右腓骨骨折、休業見込み日数:6か月)		飛来、落下	型枠材
74	11月	男性	解体工	30代	マンションの解体工事にて、散水作業をしていたとき、ブレーカーで小割していたコンクリート片が左手に当たった。 (傷病名:左親指骨折、休業見込み日数:2週間)		飛来、落下	コンクリート片
75	11月	男性	耐火被覆工	60代	施設の新築工事にて、耐火被覆材の吹付作業中、高所作業車のバケットに乗り込むため、中棧に足をかけたとき、足が滑り、手すりで腹部を強打した。 (傷病名:内臓損傷、休業見込み日数:2か月)		激突	高所作業車
76	11月	男性	大工	60代	民家の改修工事にて、現場近くの路地で一輪車を使用して瓦を運搬中、バランスを崩し、ガードレールと一輪車の持ち手との間に左手指を挟んだ。 (傷病名:左肩骨折、休業見込み日数:30日)		はさまれ、巻き込まれ	一輪車
77	11月	男性	一般作業員	30代	自社の資材置場にて、資材の荷降ろし作業中、左足に前進してきたフォークリフトが接触した。 (傷病名:左膝靭帯損傷、休業見込み日数:3か月)		激突され	フォークリフト

令和5年における建設業の労働災害事例

長崎労働基準監督署

番号	発生日	性別	職種	年齢層	災害発生の概要 (概要の内容は、同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	略図	事故の型	
							起因物	
78	12月	男性	配管工	40代	アパートの改修工事にて、電動ドリルのアタッチメントを交換中、誤って電源が入り、ドリルに右手指が巻き込まれた。 (傷病名:右示指・中指脱臼骨折、休業見込み日数:1か月)		はさまれ、巻き込まれ	電動ドリル
79	12月	男性	一般作業員	50代	草木伐採等の工事にて、バックホーをダンプトラックに乗せるためのアルミブリッジを2人で抱えたとき、手が滑って、足の上に落とした。 (傷病名:右第1趾骨骨折、休業見込み日数:49日)		飛来、落下	材料
80	12月	男性	一般作業員	50代	自社の資材置場にて、トラッククレーンで铸铁管を荷下ろし作業中、荷が振れたため、左手で荷を支えたとき、トラッククレーンの荷台と吊荷との間に左親指を挟んだ。 (傷病名:左親指骨折、休業見込み日数:7日)		はさまれ、巻き込まれ	トラッククレーン
81	12月	男性	塗装工	10代	民家の改修工事にて、足場上に積もった雪を除去する作業中、足場からバルコニーに移動しようとしたとき、足が滑り、バルコニー上に墜落した。 (傷病名:外傷性内臓破裂、休業見込み日数:30日)		墜落、転落	足場
82	12月	男性	一般作業員	10代	民家の新築工事にて、壁に立てかけていたボードが倒れ、足が下敷きとなった。 (傷病名:左足首剥離骨折、休業見込み日数:6週間)		崩壊、倒壊	ボード
83	12月	男性	解体工	60代	自社の倉庫にて、トラックの荷台にバックホーを積み込む作業中、バランスを崩し、荷台上のバックホーの運転席から墜落した。(高さ3.0m) (傷病名:右肋骨骨折、休業見込み日数:2か月)		墜落、転落	トラック